



養父市

養父市農業の魅力発信

No.12

令和7年6月
発行

農業委員会だより



養父市農業の未来に向かって



養父市農業委員会意見交換会

農地を繋ぐ

県立但馬農業高等学校の生徒と意見交換を行いました。

そのなかで「祖父のお米が一番美味しい」という発言が印象的で、この言葉には農業にとって大事なものが詰まっているように感じました。その他にも、10代ならではの意見や農業に対する様々な思いを聞くことができ、このような生徒たちが農業の新たな担い手となってくれることに期待しています。

また、農業委員会では委員が10月31日に任期を終えるため、次期委員を募集します。

11月からは、新たな委員をむかえ、新体制となり、よりよい活動を行っていきたいと思っています。

これらの新たな人たちが、養父市の農地を未来へと繋いでいってくれることを切に願っております。

養父市農業委員会 会長 山根 達夫

第12号 もくじ

- 但馬農業高校との意見交換会 2・3
- お知らせ 4



但馬農業高校との意見交換会

日時 令和7年3月10日(月)午後1時30分～

参加者 但馬農業高校：木内校長、加藤主幹教諭、2年生4名、1年生4名
農業委員会：16名（うち事務局3名） 朝来農業改良普及センター：1名

但馬農業高校紹介

- ・校訓「汗をいとわず 命を尊び 日々高きを志す」 みのりの食科と総合畜産科の2学科
- ・生徒の家業は、専業農家8%、兼業農家16%、非農家76%
- ・就職先は、但馬が多い。但馬内の畜産農家122戸の内、卒業生は約30戸に就農、但馬内の畜産農家は、但馬農業高校の卒業生が支えていると言っても過言ではない。
- ・学校農業クラブ連盟大会に出場、意見発表(令和3年度全国大会最優秀賞受賞)

意見交換で出た主な内容

農業への志、夢について

- 実家の農業を継ぐことを考えている。実家では、スマート農業（ドローンによる種蒔の直播）を行っている。一人でも米を育てられることを目指している。
- 育てた野菜を加工し販売していきたい。養父市で店も持ちたい。
- みんなが安心安全な物を手にできるような物作りをしたい。農業を通して、地域の方との交流を増やしたいと思っている。
- 消費者に安心安全な農産物を届けて美味しく食べてもらいたい。
- まだ農業をしていくか決まっていないが、もしするなら、祖父の米作りを手伝いたい。そうしながら、自分なりにどんな農業をしていくか見つけていきたい。

なぜ農業の分野を選ばれたか？農業の魅力は何か？

- まずは、実家が農家であること。それから、ドローン等のこれからの技術発展に興味を惹かれて農業を継ぐことを決めた。
- 食べることが好きなので、自分で育て、料理し、美味しく食べたいという思いから。
- 座学よりも体を動かして覚えたい。農業に関わる事をやり技術を学びたいと思ったから。
- 収穫することに魅力を感じる。収穫は自分がやってきた集大成だと思い嬉しくなるから。
- 植物ができるまで過程を見たことがなかった。食べている作物がどのような過程を経ているか知りたいと思った。農業高校は実習があって自然に触れる機会が多いから。
- 小学校の時に米を作る機会があった。それが美味しくて農業高校を選んだ。
- 祖父のお米が一番美味しい。目が悪い祖父のお米が食べられなくならないように選んだ。
- 農業は毎年同じことをしても同じ結果にならない、そこに魅力を感じた。



但馬農業高校の活動



ドローンによる直播



課題研究発表会 (YB fab)



第8回和牛甲子園に出場

農地が荒廃している現状をみて感じること

- 通学時に放置された田畑をよく見る。年々増えてきていると思う。
- 作られていない農地は後継者がいないということ。田は1年草を生やすと雑草の種が残り、その後作りにくくなる。しっかり農地を繋いでいくためにも、若者が入りやすいような補償制度や就農支援等を手厚くしてほしい。
- 手を付けられない田が増えてきているように感じている。お金が掛かる状況からスマート農業などを取り入れ楽に農業ができるようになれば、若い人も足を踏み入れやすいと思う。
- 但馬全体として若者が減ってきている。若者減少と荒廃農地増加が相対関係にあると思う。
- 農地の荒廃は、農業者の高齢化と担い手不足が原因だと思う。専業のみならず兼業でもできるように農業技術を向上し、若い農業者を増やしたい。
- スマート農業を取り入れている農家もあるがお金がかかるため、利用者が増えない。誰でもスマート農業等を取り入れやすくなるような助成が必要だと思う。
- 農業を継いでくれる若者にむけ、SNS等を活用し農業に興味を持ってもらえるよう積極的にアピールするべきだと思う。若者が定住したくなるような住環境の整備も必要だと思う。



こんな農業だったらいいのにな~と思うこと

- いろんな人と関わりたい。一緒に働いたり、農業以外でも関われる人が多いと良い。
- 祖父と米作りを一緒にしたいが、祖父の家は古く住むのはちょっと怖い。住む場所と人、女性農業者との交流があれば良い。
- 安定した収入も必要だが、地域の人とコミュニケーションを取って楽しく働きたい。
- カッコいい農業をしたい。土とかで汚くなるけど清潔感がある仕事だったら嬉しいと思う。
- 小学校の時にした米作りが楽しかった。スマート農業等の機械化もいいけど自分の手でやりたい。自分の悩みとかを相談できる環境があれば良い。
- いきなり農業を始めるのはハードルが高い。就農にむけ農業をアルバイトで試してから、どんな農業が自分に向いているのか考えられたら良い。
- 農業がやりやすい地域と住みやすい地域が反比例している。農業をしていくうえで住みやすさも大切な条件のひとつ。
- 農業が儲かればやる人がもっと増えると思う。農業をしたらしたぶんだけ、しっかりお金が入る仕組みがあれば良い。

お知らせ



1.活動報告

- ・但馬農業高校生と意見交換会を実施しました（3月10日）



2.活動予定

- ・県外視察研修を実施します（7月）
- ・市長へ農業施策等に関する意見書を提出します（8月）
- ・農地パトロールを実施します（7月～10月）
- ・お米食味会を実施します（11月）



3.農業関係情報

策定を進めておりました地域計画ですが、地域の皆様のご尽力により95地区（策定率67%）で作ることができました。未策定地区へは今後も、策定に向け協力していきたいと思えます。
 なお、地域計画は策定して終わりではありません。毎年、見直しを行い、より地域の実状に合わせ、課題解決に迎えるよう良い計画へ修正をしていただきたいと思います。



4.農業委員会委員の募集について

農業委員会委員の任期は3年で、当会の現委員は令和7年10月31日をもって任期満了となりますので、下記のとおり次期、養父市農業委員会委員を募集します。

募集委員	農業委員	13名
	農地利用最適化推進委員	12名
委員任期	令和7年11月1日～令和10年10月31日	
募集期間	令和7年6月20日（金）～令和7年7月25日（金）	

- 詳しくは、養父市ホームページをご覧ください。か、当会事務局もしくは、本庁経営総務課・各地域局に備え付けている募集要項に記載しております。

*** ご注意ください ***

農地を農地以外(宅地化等)にするには、転用申請し許可を得る必要があります。
 登記地目が「田」「畑」のものは、耕作されず現況が農地でなくなっても手続きは必要です。
 また、個人では墓地を新設できないことや、農用地区域内などでは農地転用が制限されていますのでご注意ください。

悪質な違反転用となれば、**3年以下の懲役または300万円(法人は1億円)以下の罰金**となることもありますのでご注意ください。

